



骨材試験成績書

郵便番号 699-1622
依頼者 所在地 島根県仁多郡奥出雲町下阿井1766番地1
会社名 (株)サンテック 様
(依頼者コード= 04317)

令和7年12月19日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和8年1月28日

鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田 英明
署名者 材料試験課長 宮脇 泰一郎



1. 試験種別	A08-1 A09-1 A10-1 A11-1 A12-1 A13-1 A14-1
2. 受付番号	251219022
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	S-20(5号)

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

試験結果

道路用骨材

受付番号	251219022	生産地・採取地	山口県周南市大字金峰
名称等	S-20(5号)	生産者・採取者	(株)鹿野興産
試験年月日	令和8年1月28日	試験責任者	大西 慶祐
備考	2025年12月19日カネックス(株)骨材ヤードにて採取		

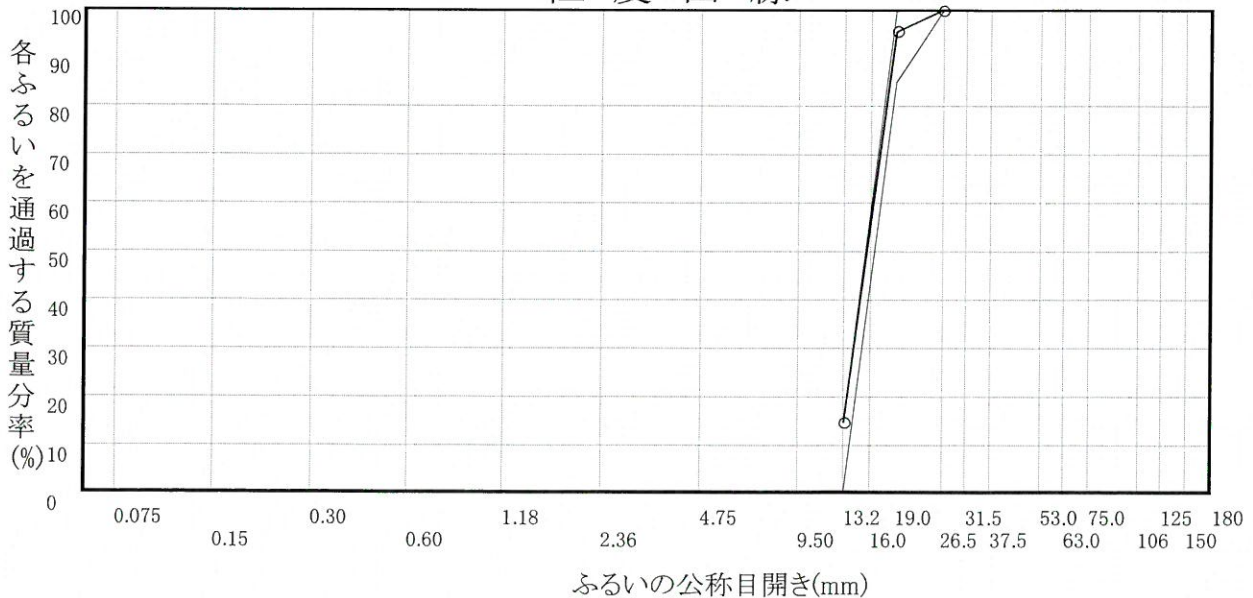
試験結果

密度及び吸水率 JISA1110:2006	表乾密度	2.729 g/cm ³
	かさ密度	2.717 g/cm ³
	見掛密度	2.749 g/cm ³
	吸水率	0.424 %
単位容積質量 JISA1104:2006		1.65 kg/L
実積率 JISA1104:2006		60.7 %
微粒分量 JISA1103:2014		1.0 %
すりへり減量 JISA1121:2022	粒度区分 30%以下 (H区分)	9.4 %
安定性 JISA1122:2014		1.0 %
有機不純物 JISA1105:2015		*
塩化物 JISA5002:2003		* %
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		2.4 %
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %
粘土塊量 JISA1137:2014		* %

ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

ふるいの公称目開き(mm)	種別	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
26.5	*	*	100.0	
19.0	*	*	95.6	
13.2	*	*	14.8	
粗粒率	*			
摘要				

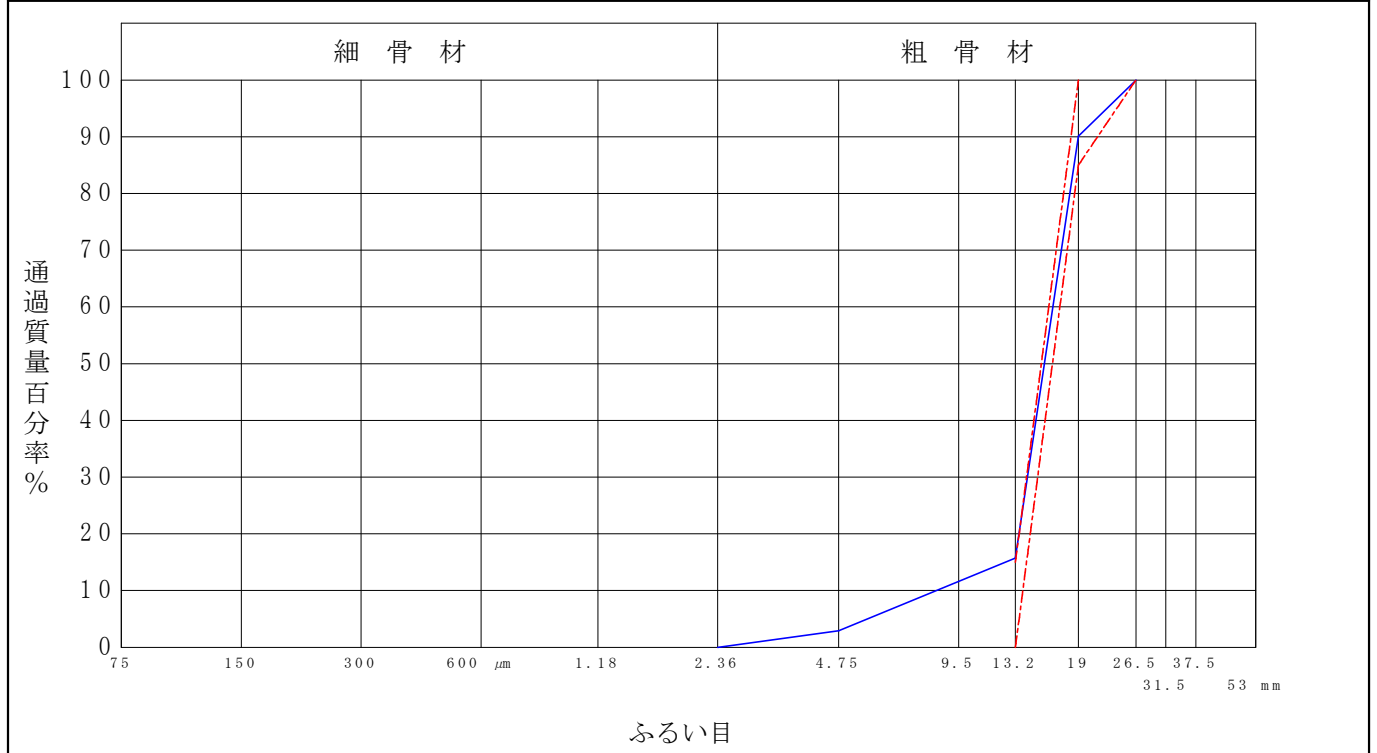
粒度曲線



骨材のふるい分け試験 (JIS A 1102)

骨材名 5号砕石 試験年月日 2026年 1月21日
 試料採取地 ストックヤード 測定者 金田道英

測定番号	1			2			平均 通過 百分率 (%)
	乾燥試料質量 (g) 5039.2			乾燥試料質量 (g) 5022.4			
ふるい目の 開き	ふるい残留 質量 (g)	残留質量 百分率 (%)	通過質量 百分率 (%)	ふるい残留 質量 (g)	残留質量 百分率 (%)	通過質量 百分率 (%)	
53 mm							
37.5							
31.5							
26.5	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
19	484.9	9.6	90.4	514.5	10.2	89.8	90.1
13.2	4209.8	83.5	16.5	4272.2	85.1	14.9	15.7
9.5							
4.75	4894.5	97.1	2.9	4879.3	97.2	2.8	2.9
2.36	5039.2	100.0	0.0	5022.4	100.0	0.0	0.0
1.18							
600 μm							
300							
150							
75							
合計	5039.2			5022.4			



--	--	--	--

骨材の形状試験

調査名・目的 配合設計 試験年月日 2026年 1月22日
試料採取場所 山口県周南市大字金峰 使用場所・目的 カネックス株式会社
種類 5号砕石 試験者 金田道典
材質 硬質砂岩

N O .	項 目	計算式	1 回目	2 回目	3 回目
①	試験試料の質量 (g)		1000.0	1000.0	1000.0
②	4.75mm のふるいにとどまった質量(g)		996.1	997.9	997.4
③	細長いあるいは扁平と判定された骨材の質量 (g)		32.3	36.4	30.3
④	細長いあるいは扁平と判定されなかった骨材の質量 (g)	②- ③	963.8	961.5	967.1
⑤	細長いあるいは扁平の骨材の含有量 (%)	$\frac{③}{③+④} \times 100$	3.2	3.6	3.0
⑥	平均値 (%)		3.3		

備考：

--	--	--	--

JIS A 1137	骨材中に含まれる粘土塊量の試験	試験報告用紙
------------	-----------------	--------

調査名・目的	配合設計	試験年月日	2026年 1月22日
種類	5号砕石	使用場所・目的	カネックス株式会社
試料採取場所	山口県周南市大字金峰	試験者	金田道典
		最大寸法(mm)	20

試験室の状態	室温 (°C)	湿度 (%)

記事	
----	--

細骨材の粘土塊量試験

測定番号	1	2	1	2
①試験前の試料の乾燥質量(g)				
②試験後の試料の乾燥質量(g)				
③損失質量 ①-② (g)				
④粘土塊量 $\frac{③}{①} \times 100$ (%)				
⑤平均値 (%)				
⑥平均値からの偏差 (%)				
判定				

粗骨材の粘土塊量試験

測定番号	1	2	1	2
①試験前の試料の乾燥質量(g)	2679.2	2963.8		
②試験後の試料の乾燥質量(g)	2676.5	2960.9		
③損失質量 ①-② (g)	2.7	2.9		
④粘土塊量 $\frac{③}{①} \times 100$ (%)	0.100	0.098		
⑤平均値 (%)	0.10			
⑥平均値からの偏差 (%)	0.00			
判定				

注(1) 試験は2回行い、その精度は平均値からの差が0.2%以下でなければならない
備考:



骨材試験成績書

郵便番号 699-1622
依頼者 所在地 島根県仁多郡奥出雲町下阿井1766番地1
会社名 (株)サンテック 様
(依頼者コード= 04317)

令和7年12月19日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和8年1月28日 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田 英明
署名者 材料試験課長 宮脇 泰一郎



1. 試験種別	A08-1 A09-1 A10-1 A11-1 A12-1 A13-1 A14-1
2. 受付番号	251219022
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	S-13(6号)

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

試験結果

道路用骨材

受付番号	251219022	生産地・採取地	山口県山口市宮野上入野東
名称等	S-13(6号)	生産者・採取者	石田採石(株)
試験年月日	令和8年1月28日	試験責任者	大西 慶祐
備考	2025年12月19日カネックス(株)骨材ヤードにて採取		

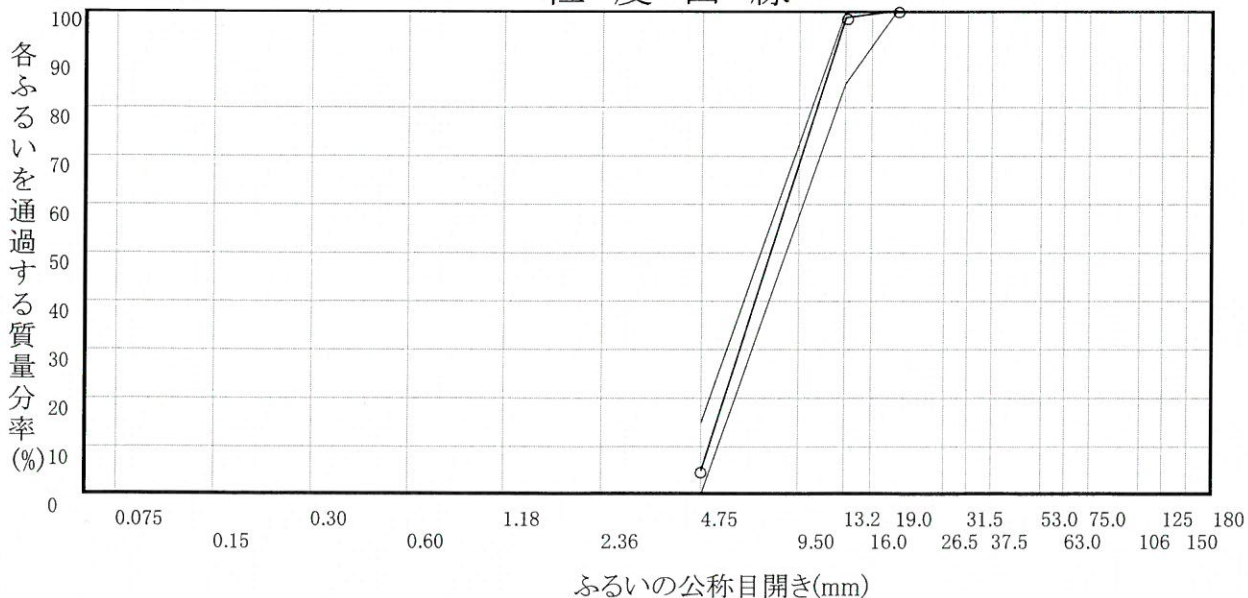
試験結果

密度及び吸水率 JISA1110:2006	表乾密度	2.699 g/cm ³
	かさ密度	2.679 g/cm ³
	見掛密度	2.733 g/cm ³
	吸水率	0.735 %
単位容積質量 JISA1104:2006		1.60 kg/L
実積率 JISA1104:2006		59.7 %
微粒分量 JISA1103:2014		0.6 %
すりへり減量 JISA1121:2022		15.2 %
安定性 JISA1122:2014		3.1 %
有機不純物 JISA1105:2015		*
塩化物 JISA5002:2003		* %
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		10.1 %
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %
粘土塊量 JISA1137:2014		* %

ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
19.0	*	*	100.0
13.2	*	*	98.5
4.75	*	*	5.0
粗粒率	*		
摘要			

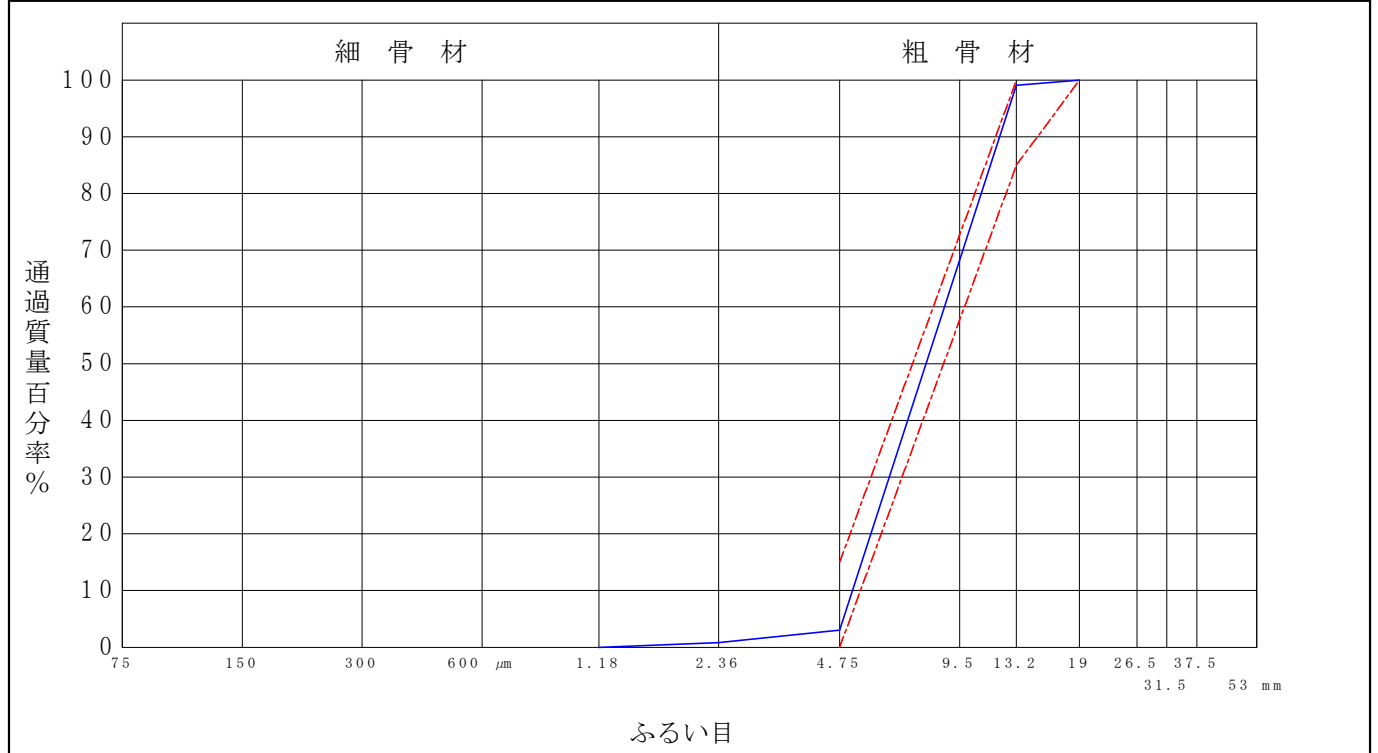
粒度曲線



骨材のふるい分け試験 (JIS A 1102)

骨材名 6号砕石 試験年月日 2026年 1月21日
 試料採取地 ストックヤード 測定者 金田道英

測定番号	1			2			平均 通過 百分率 (%)
	乾燥試料質量 (g) 2011.4			乾燥試料質量 (g) 2044.3			
ふるい目の 開き	ふるい残留 質量 (g)	残留質量 百分率 (%)	通過質量 百分率 (%)	ふるい残留 質量 (g)	残留質量 百分率 (%)	通過質量 百分率 (%)	
53 mm							
37.5							
31.5							
26.5							
19	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
13.2	21.5	1.1	98.9	15.9	0.8	99.2	99.1
9.5							
4.75	1957.5	97.3	2.7	1976.1	96.7	3.3	3.0
2.36	2011.4	100.0	0.0	2011.4	98.4	1.6	0.8
1.18							
600 μm							
300							
150							
75							
合計	2011.4			2044.3			



--	--	--	--

骨材の形状試験

調査名・目的 配合設計 試験年月日 2026年 1月22日
試料採取場所 山口県山口市宮野上入野東 使用場所・目的 カネックス株式会社
種類 6号砕石 試験者 金田道典
材質 硬質砂岩

N O .	項 目	計算式	1 回目	2 回目	3 回目
①	試験試料の質量 (g)		1000.0	1000.0	1000.0
②	4.75mm のふるいにとどまった質量(g)		975.2	967.6	972.3
③	細長いあるいは扁平と判定された骨材の質量 (g)		43.0	31.1	44.0
④	細長いあるいは扁平と判定されなかった骨材の質量 (g)	②- ③	932.2	936.5	928.3
⑤	細長いあるいは扁平の骨材の含有量 (%)	$\frac{③}{③+④} \times 100$	4.4	3.2	4.5
⑥	平均値 (%)		4.0		

備考：

--	--	--	--

JIS A 1137	骨材中に含まれる粘土塊量の試験	試験報告用紙
------------	-----------------	--------

調査名・目的	配合設計	試験年月日	2026年 1月22日
種類	6号砕石	使用場所・目的	カネックス株式会社
試料採取場所	山口県山口市宮野上入野東	試験者	金田道英
		最大寸法(mm)	13

試験室の状態	室温 (°C)	湿度 (%)

記事	
----	--

細骨材の粘土塊量試験

測定番号	1	2	1	2
①試験前の試料の乾燥質量(g)				
②試験後の試料の乾燥質量(g)				
③損失質量 ①-② (g)				
④粘土塊量 $\frac{③}{①} \times 100$ (%)				
⑤平均値 (%)				
⑥平均値からの偏差 (%)				
判定				

粗骨材の粘土塊量試験

測定番号	1	2	1	2
①試験前の試料の乾燥質量(g)	2129.4	2303.4		
②試験後の試料の乾燥質量(g)	2128.1	2302.4		
③損失質量 ①-② (g)	1.3	1.0		
④粘土塊量 $\frac{③}{①} \times 100$ (%)	0.060	0.043		
⑤平均値 (%)	0.05			
⑥平均値からの偏差 (%)	0.01			
判定				

注(1) 試験は2回行い、その精度は平均値からの差が0.2%以下でなければならない
備考:



骨材試験成績書

郵便番号 699-1622
依頼者 所在地 島根県仁多郡奥出雲町下阿井1766番地1
会社名 (株)サンテック 様
(依頼者コード = 04317)

令和7年12月19日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和8年1月28日

鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田 英明
署名者 材料試験課長 宮脇 泰一郎



1. 試験種別	A08-1 A09-1 A10-1 A11-1 A12-1 A13-1
2. 受付番号	251219022
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	S-5(7号)

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

試験結果

道路用骨材

受付番号	251219022	生産地・採取地	岡山県真庭市神代
名称等	S-5(7号)	生産者・採取者	(株)マルケイ
試験年月日	令和8年1月28日	試験責任者	大西 慶祐
備考	2025年12月19日カネックス(株)骨材ヤードにて採取		

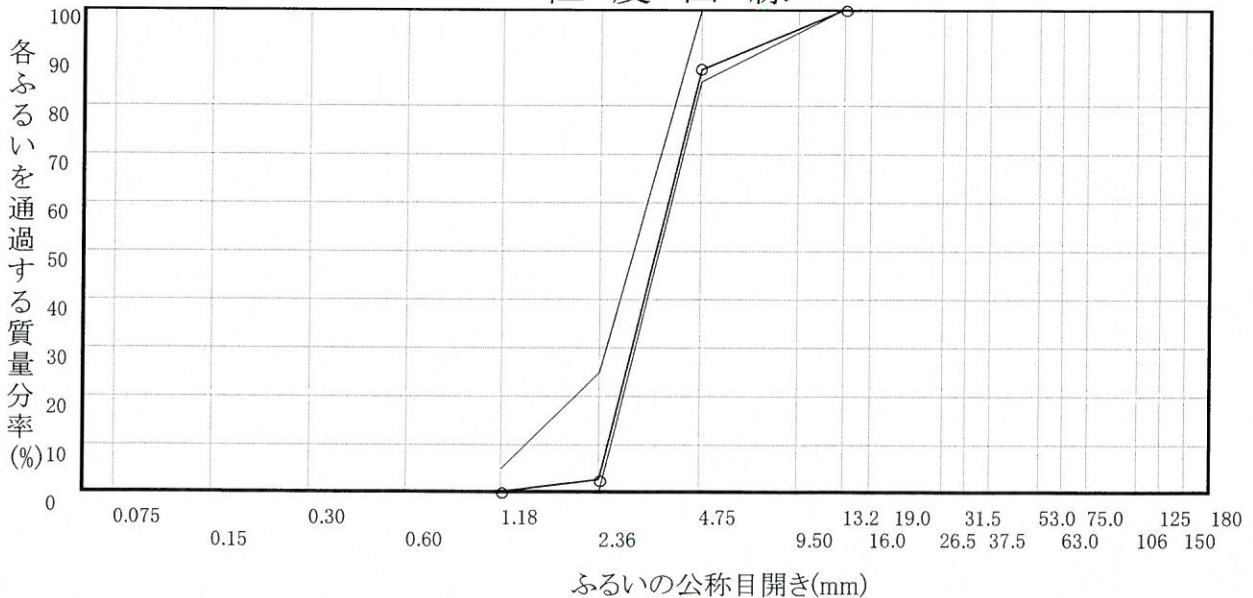
試験結果

密度及び吸水率 JISA1110:2006	表乾密度	2.673 g/cm ³
	かさ密度	2.652 g/cm ³
	見掛密度	2.711 g/cm ³
	吸水率	3.0% 以下 0.820 %
単位容積質量 JISA1104:2006		1.49 kg/L
実積率 JISA1104:2006		56.2 %
微粒分量 JISA1103:2014		0.6 %
すりへり減量 JISA1121:2022		粒度区分 30% 以下 (D区分) 17.5 %
安定性 JISA1122:2014		0.4 %
有機不純物 JISA1105:2015		*
塩化物 JISA5002:2003		* %
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		* %
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %
粘土塊量 JISA1137:2014		* %

ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
13.2	*	*	100.0
4.75	*	*	87.7
2.36	*	*	2.9
1.18	*	*	0.4
粗粒率	*		
摘要			

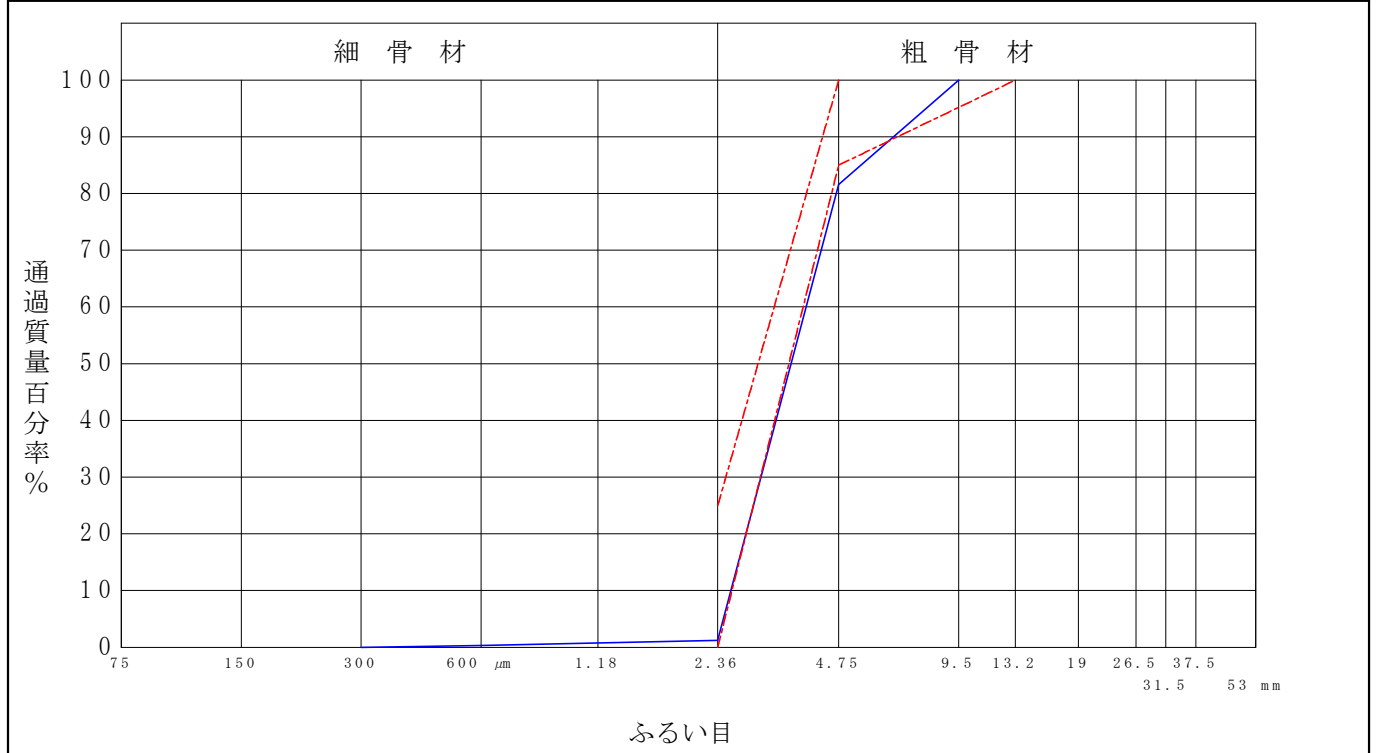
粒度曲線



骨材のふるい分け試験 (JIS A 1102)

骨材名 7号砕石 試験年月日 2026年 1月21日
 試料採取地 ストックヤード 測定者 金田道英

測定番号	1			2			平均 通過 百分率 (%)
	乾燥試料質量 (g) 1126.1			乾燥試料質量 (g) 1212.4			
ふるい目の 開き	ふるい残留 質量 (g)	残留質量 百分率 (%)	通過質量 百分率 (%)	ふるい残留 質量 (g)	残留質量 百分率 (%)	通過質量 百分率 (%)	
53 mm							
37.5							
31.5							
26.5							
19							
13.2							
9.5	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
4.75	213.1	18.9	81.1	217.9	18.0	82.0	81.6
2.36	1112.7	98.8	1.2	1197.5	98.8	1.2	1.2
1.18							
600 μm	1122.5	99.7	0.3	1209.3	99.7	0.3	0.3
300	1126.1	100.0	0.0	1212.4	100.0	0.0	0.0
150							
75							
合計	1126.1			1212.4			



--	--	--	--

JIS A 1137	骨材中に含まれる粘土塊量の試験	試験報告用紙
------------	-----------------	--------

調査名・目的	配合設計	試験年月日	2026年 1月22日
種類	7号砕石	使用場所・目的	カネックス株式会社
試料採取場所	岡山県真庭市神代	試験者	金田道典
		最大寸法(mm)	5

試験室の状態	室温 (°C)	湿度 (%)

記事	
----	--

細骨材の粘土塊量試験

測定番号	1	2	1	2
①試験前の試料の乾燥質量(g)				
②試験後の試料の乾燥質量(g)				
③損失質量 ①-② (g)				
④粘土塊量 $\frac{③}{①} \times 100$ (%)				
⑤平均値 (%)				
⑥平均値からの偏差 (%)				
判定				

粗骨材の粘土塊量試験

測定番号	1	2	1	2
①試験前の試料の乾燥質量(g)	2547.9	2734.2		
②試験後の試料の乾燥質量(g)	2545.0	2730.6		
③損失質量 ①-② (g)	2.9	3.6		
④粘土塊量 $\frac{③}{①} \times 100$ (%)	0.114	0.132		
⑤平均値 (%)	0.12			
⑥平均値からの偏差 (%)	0.01			
判定				

注(1) 試験は2回行い、その精度は平均値からの差が0.2%以下でなければならない
備考:



骨材試験成績書

郵便番号 699-1622
依頼者 所在地 島根県仁多郡奥出雲町下阿井1766番地1
会社名 (株)サンテック 様
(依頼者コード = 04317)

令和7年12月19日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和8年1月28日

鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田 英明
署名者 材料試験課長 宮脇 泰一郎



1. 試験種別	A01-1 A02-1 A03-1 A04-1 A06-1 A07-1
2. 受付番号	251219022
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	加工砂

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

試験結果

道路用骨材

受付番号	251219022	生産地・採取地	鳥根県仁多郡奥出雲町下阿井
名称等	加工砂	生産者・採取者	(株)サンテック
試験年月日	令和8年1月28日	試験責任者	大西 慶祐
備考	2025年12月19日カネックス(株)骨材ヤードにて採取		

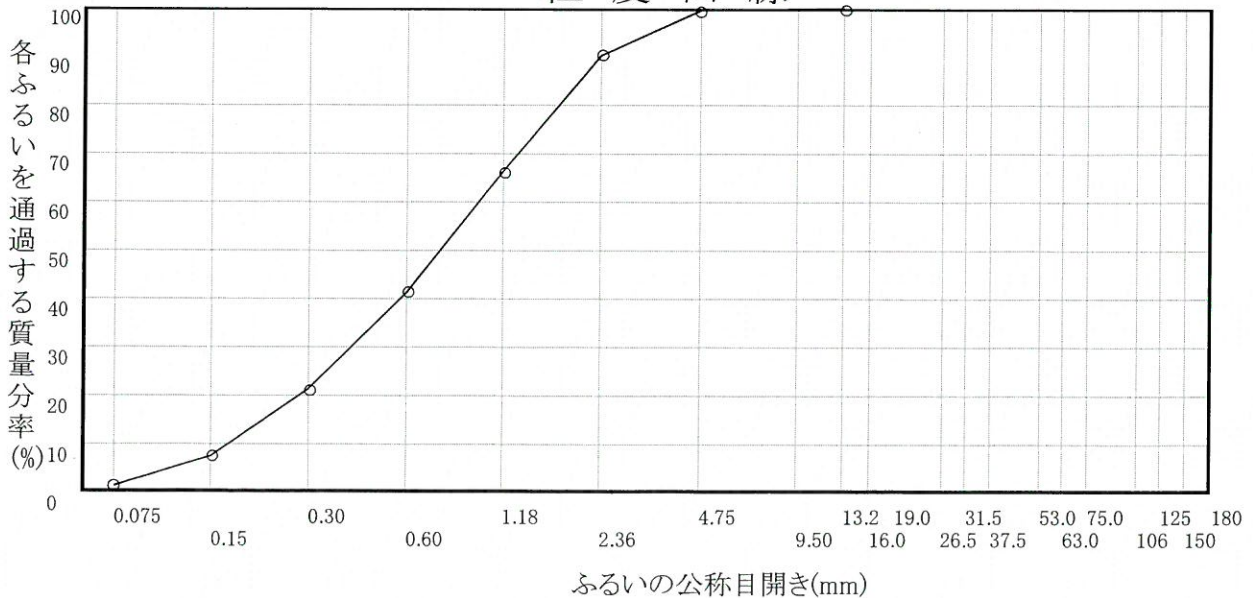
試験結果

密度及び吸水率 JISA1109:2006	表乾密度	2.577 g/cm ³
	かさ密度	2.543 g/cm ³
	見掛密度	2.632 g/cm ³
	吸水率	1.321 %
単位容積質量 JISA1104:2006	1.66 kg/L	
実積率 JISA1104:2006	65.3 %	
微粒分量 JISA1103:2014	2.0 %	
すりへり減量 JISA1121:2022	粒度区分(*)	* %
安定性 JISA1122:2014	0.7 %	
有機不純物 JISA1105:2015	標準色液の色よりも淡い	
塩化物 JISA5002:2003	* %	
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007	* %	
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007	* %	
粘土塊量 JISA1137:2014	* %	

ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

ふるいの公称目開き(mm)	種別	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
13.2		*	*	100.0
4.75		*	*	99.6
2.36		*	*	90.6
1.18		*	*	66.5
0.60		*	*	41.6
0.30		*	*	21.5
0.15		*	*	7.7
0.075		*	*	1.6
受皿		*	*	*
粗粒率	*			
摘要				

粒度曲線



--	--	--	--

JIS A 1137	骨材中に含まれる粘土塊量の試験	試験報告用紙
------------	-----------------	--------

調査名・目的	配合設計	試験年月日	2026年 1月22日
種類	粗砂	使用場所・目的	カネックス株式会社
試料採取場所	島根県仁多郡奥出雲町下阿井	試験者	金田道英
		最大寸法(mm)	0

試験室の状態	室温 (°C)	湿度 (%)

記事	
----	--

細骨材の粘土塊量試験				
測定番号	1	2	1	2
①試験前の試料の乾燥質量(g)	2034.2	2247.3		
②試験後の試料の乾燥質量(g)	2031.6	2244.0		
③損失質量 ①-② (g)	2.6	3.3		
④粘土塊量 $\frac{\text{③}}{\text{①}} \times 100$ (%)	0.128	0.147		
⑤平均値 (%)	0.14			
⑥平均値からの偏差 (%)	0.01			
判定				

粗骨材の粘土塊量試験				
測定番号	1	2	1	2
①試験前の試料の乾燥質量(g)				
②試験後の試料の乾燥質量(g)				
③損失質量 ①-② (g)				
④粘土塊量 $\frac{\text{③}}{\text{①}} \times 100$ (%)				
⑤平均値 (%)				
⑥平均値からの偏差 (%)				
判定				

注(1) 試験は2回行い、その精度は平均値からの差が0.2%以下でなければならない
備考:



鳥建技第 (1/2)
356912号

骨材試験成績書

郵便番号 689-2201
依頼者 所在地 鳥取県東伯郡北栄町西園316-1
会社名 (有)永田商事 様
(依頼者コード= 08023)

令和7年12月22日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和8年1月23日

鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田 英明
署名者 材料試験課長 宮脇 泰一郎



1. 試験種別	A01-1 A02-1 A03-1
2. 受付番号	251222024
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	天然砂

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

試験結果

コンクリート用骨材

受付番号	251222024	生産地・採取地	東伯郡北栄町(北条砂丘)地内
名称等	天然砂	生産者・採取者	(有)永田商事
試験年月日	令和8年1月21日	試験責任者	大西 慶祐
備考	細砂		

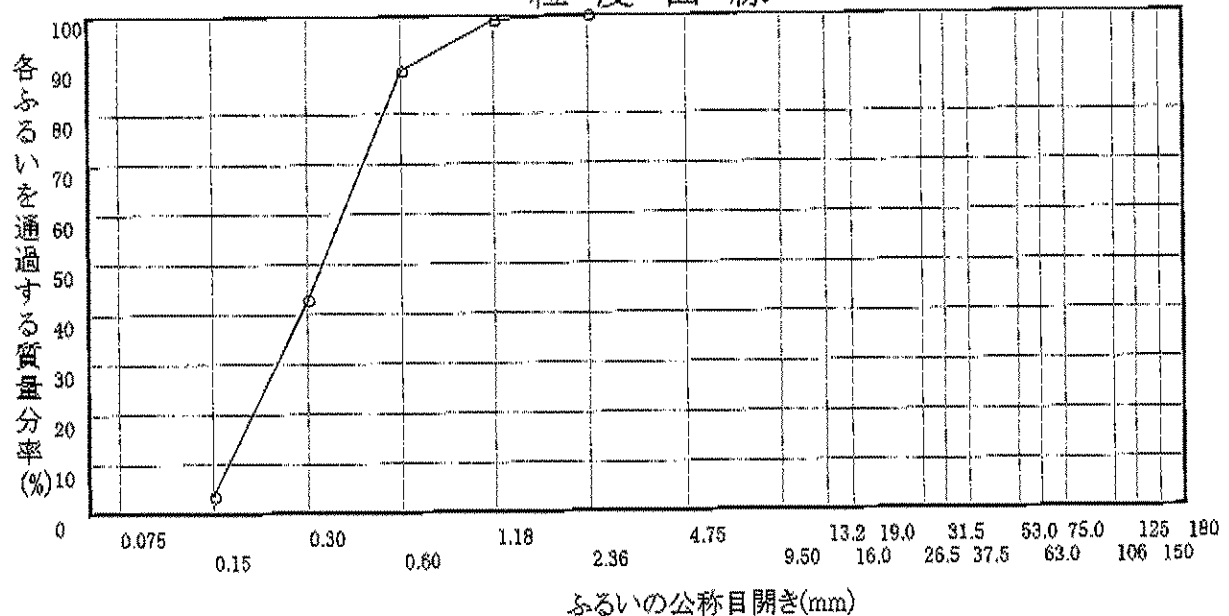
試験結果

密度及び吸水率 JISA1109:2006	表乾密度	2.59 g/cm ³	
	絶乾密度	2.53 g/cm ³	
	見掛密度	* g/cm ³	
	吸水率	2.31 %	
単位容積質量 JISA1104:2006		1.58 kg/L	
実積率 JISA1104:2006		62.5 %	
微粒分量 JISA1103:2014		* %	
すりへり減量 JISA1121:2022		粒度区分 (*)	* %
安定性 JISA1122:2014		* %	
有機不純物 JISA1105:2015		*	
塩化物 JISA5002:2003		* %	
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		* %	
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %	
粘土塊量 JISA1137:2014		* %	

ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
16.0	*	*	*
9.50	*	*	*
4.75	*	*	*
2.36	0	0	100
1.18	1	1	99
0.60	10	11	89
0.30	46	57	43
0.15	39	96	4
0.075	*	*	*
受皿	4	100	0
粗粒率	1.65		
摘要			

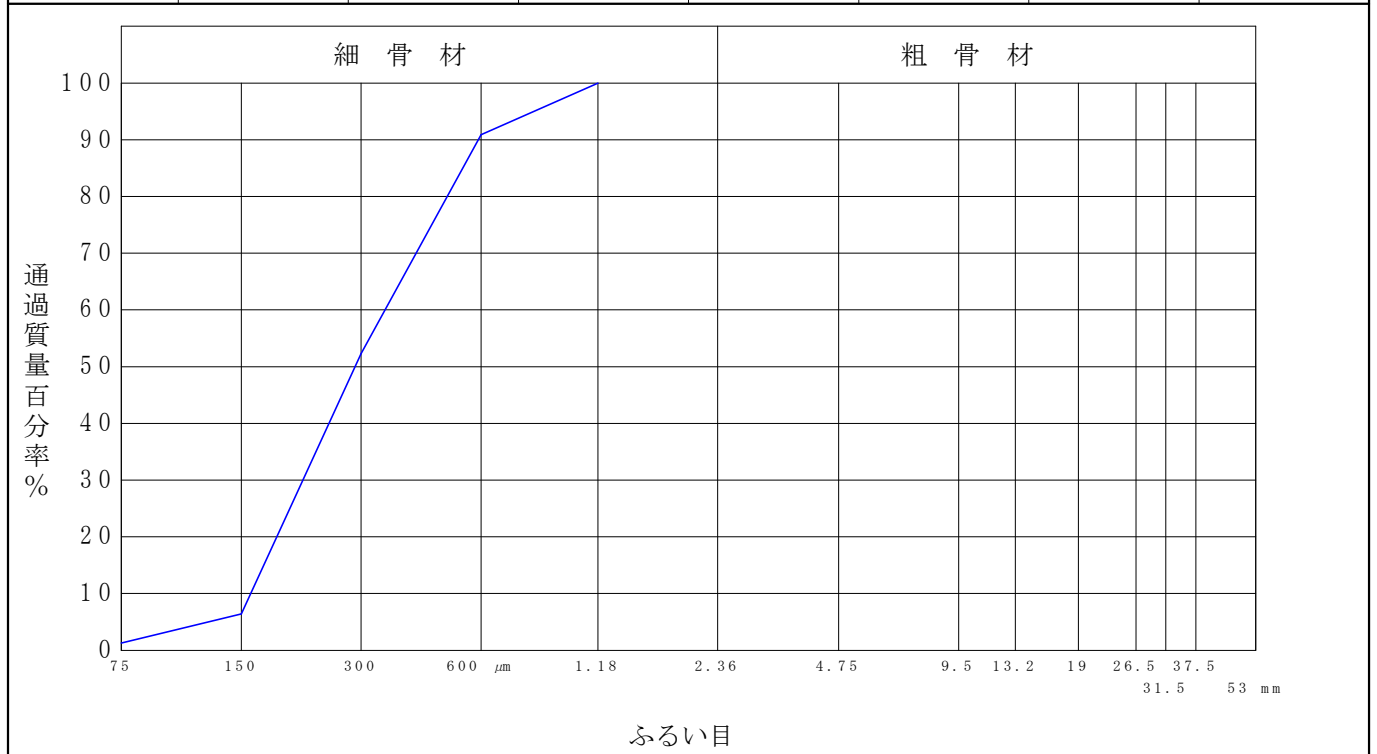
粒度曲線



骨材のふるい分け試験 (JIS A 1102)

骨材名 細砂 試験年月日 2026年 1月21日
 試料採取地 ストックヤード 測定者 金田道英

測定番号	1			2			平均 通過 百分率 (%)
	乾燥試料質量 (g) 546.3			乾燥試料質量 (g) 551.4			
ふるい目の 開き	ふるい残留 質量 (g)	残留質量 百分率 (%)	通過質量 百分率 (%)	ふるい残留 質量 (g)	残留質量 百分率 (%)	通過質量 百分率 (%)	
53 mm							
37.5							
31.5							
26.5							
19							
13.2							
9.5							
4.75							
2.36							
1.18	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
600 μm	51.6	9.4	90.6	49.2	8.9	91.1	90.9
300	261.0	47.8	52.2	262.3	47.6	52.4	52.3
150	511.9	93.7	6.3	515.5	93.5	6.5	6.4
75	537.9	98.5	1.5	545.5	98.9	1.1	1.3
合計	546.3			551.4			



--	--	--	--

JIS A 1137	骨材中に含まれる粘土塊量の試験	試験報告用紙
------------	-----------------	--------

調査名・目的	配合設計	試験年月日	2026年 1月22日
種類	細砂	使用場所・目的	カネックス株式会社
試料採取場所	鳥取県東伯郡北栄町	試験者	金田道英
		最大寸法(mm)	0

試験室の状態	室温 (°C)	湿度 (%)

記事	
----	--

細骨材の粘土塊量試験				
測定番号	1	2	1	2
①試験前の試料の乾燥質量(g)	2567.3	2847.2		
②試験後の試料の乾燥質量(g)	2563.8	2840.2		
③損失質量 ①-② (g)	3.5	7.0		
④粘土塊量 $\frac{③}{①} \times 100$ (%)	0.136	0.246		
⑤平均値 (%)	0.19			
⑥平均値からの偏差 (%)	0.06			
判定				

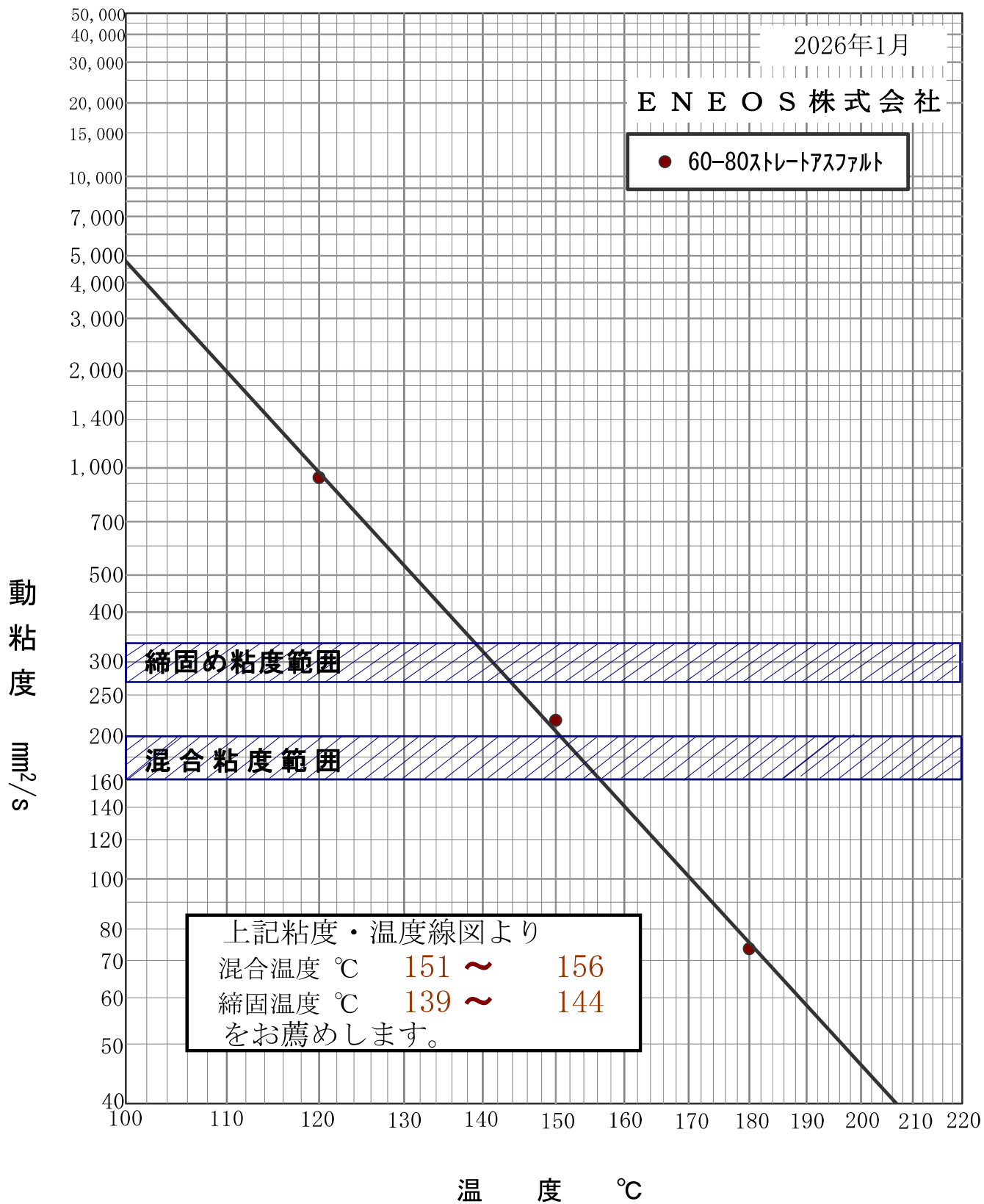
粗骨材の粘土塊量試験				
測定番号	1	2	1	2
①試験前の試料の乾燥質量(g)				
②試験後の試料の乾燥質量(g)				
③損失質量 ①-② (g)				
④粘土塊量 $\frac{③}{①} \times 100$ (%)				
⑤平均値 (%)				
⑥平均値からの偏差 (%)				
判定				

注(1) 試験は2回行い、その精度は平均値からの差が0.2%以下でなければならない
備考:

様式-7

再生骨材試験結果一覧表			
製造所	カネックス(株)アスコン工場	報告年月日	2026年1月21日
種類	再生骨材(13 ~ 0)	試験者氏名	金田道英

試験項目	平均値		再生骨材規格
粒度試験結果・通過率(%)	19.0 (mm)	100	-
	13.2	96.6	-
	4.75	70.0	-
	2.36	49.6	-
	0.60	30.2	-
	0.30	22.1	-
	0.15	19.5	-
	0.075	8.2	-
旧アスファルト含有量(%)	5.39		3.8以上
旧アスファルト針入度 (1/10mm)	22		20以上
洗試験損質量(%)	1.63		5以下
最大比重(g/cm3)	2.464		-
骨材比重(g/cm3)	-		-
備考			



粘度 - 温度図

出荷場所：水島B工場

Lot. No.

Date. 2026年 1月 5日

試験成績表

カネックス株式会社 御中

日進化成株式会社



品名：エポックファルトD

ポリマー改質アスファルトII型

品質保証室	工場長	担当
		

試験項目		試験結果	舗装設計施工指針 標準的性状
軟化点	°C	63.5	56.0以上
伸度(15°C)	cm	100+	30以上
タフネス(25°C)	N・m	27.3	8.0以上
テナシティ(25°C)	N・m	21.4	4.0以上
針入度(25°C)	1/10mm	53	40以上
薄膜加熱質量変化率	%	+0.04	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率	%	86.8	65以上
引火点	°C	352	260以上
密度(15°C)	g/cm ³	1.033	-
備考	室内配合設計時における推奨温度(°C)		
	混合温度範囲 : 170~185		
	締固め温度範囲: 160~170		

試験成績表

試験場所 カネックス株式会社

試験日 令和8年 1月21日

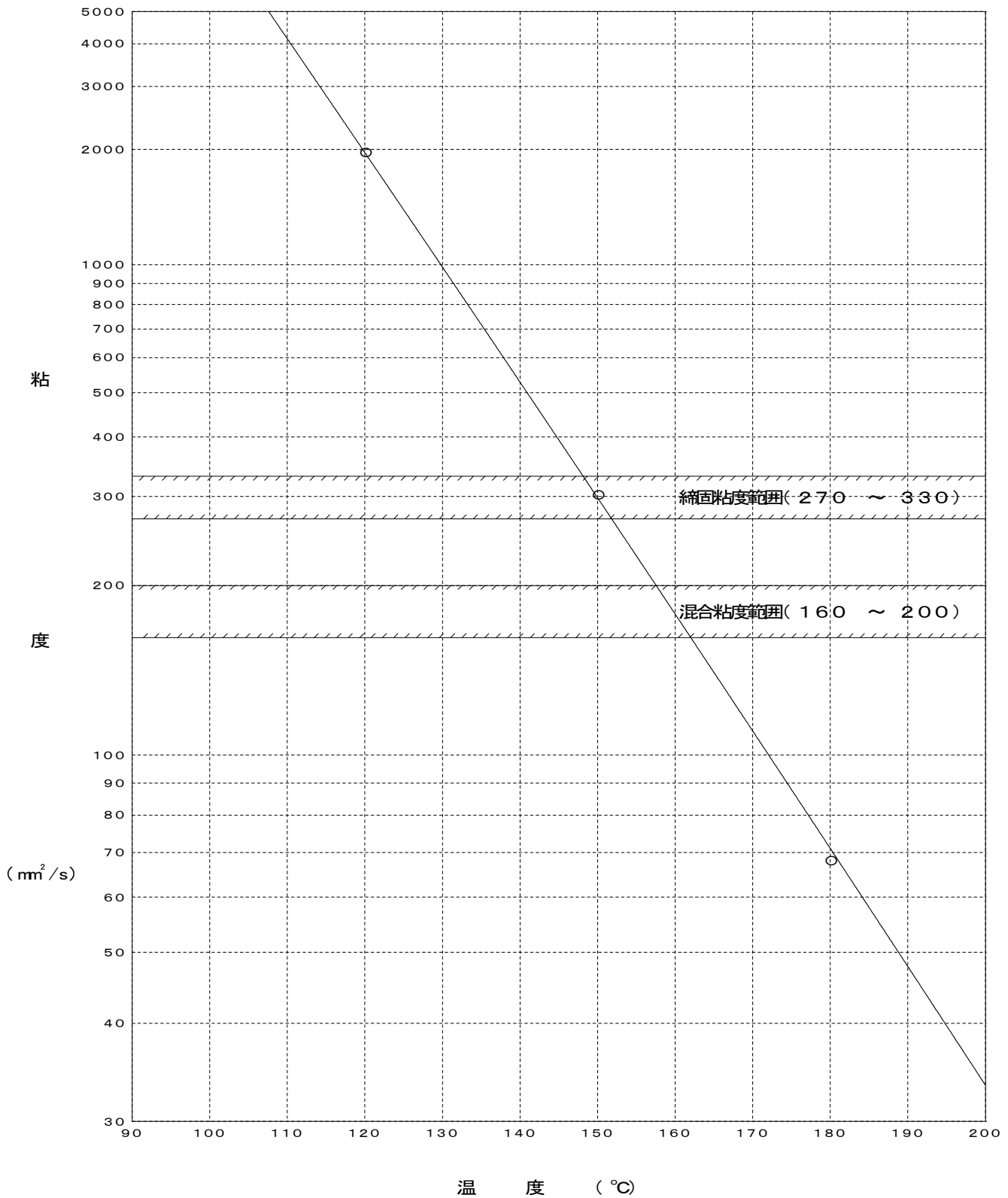
品名 再生アスファルト60～80

試験項目		商品規格値	試験値
針入度(25℃)	1/100mm	60～80	63
軟化点		44.0～52.0	47
伸度(15℃)		100以上	150+
トルエン可溶分	mass%	99.00以上	99.96
引火点		260以上	343
薄膜加熱質量変化率	mass%	0.60以下	-0.02
薄膜加熱後の針入度残留率	%	55.0以上	70.5
蒸発後の針入度比	%	110.0以下	95.8
密度(15℃)	g/cm ³	1.000以上	1.033
動粘度mm ² /s	120℃	---	1962
	150℃	---	303
	180℃	---	68
混合温度		---	158～162
締固め温度		---	148～152
備考			

<アスファルト 粘度—温度図>

令和 8年 1月 21日

アスファルト 種類: 再生アスファルト 60-80



上記のグラフより

<最適混合温度範囲>158°C~162°C

<最適締固温度範囲>148°C~152°C

表-3.3.9 砕石の粒度 (JIS A 5001-1995)

呼び名	ふるい目の開き (mm)		ふるいを通るものの質量百分率 (%)										
	粒度範囲 (mm)	106	75	63	53	37.5	31.5	26.5	19	13.2	4.75	2.36	1.18
S-80 (1号)	80~60	85~100	100	15									
S-60 (2号)	60~40	100	85~100	15	0~15								
S-40 (3号)	40~30			100	85~100	0~15							
S-30 (4号)	30~20				100	85~100	0~15						
S-20 (5号)	20~13					100	85~100	0~15					
S-13 (6号)	13~5						100	85~100	0~15				
S-5 (7号)	5~2.5								100	85~100	0~15		

砕石の品質は表-3.3.10 を目標とする。

なお、呼び名別の粒度の規定に適合しない砕石であっても、他の砕石、砂等と合成したときの粒度が、混合物の所要の骨材粒度に適合すれば使用することができる。

表-3.3.10 砕石の品質の目標値

項目	用途	表層・基層	上層路盤
表乾密度 (g/cm ³)		2.45 以上	-
吸水率 (%)		3.0 以下	-
すり減り減量 (%)		30 以下	50 以下

[注] 表層, 基層用砕石のすり減り減量試験は, 粒径 13.2~4.75mm のものについて実施する。

砕石は、同種の原石でも原石の産出場所、あるいは使用する破砕機の種類によっては、偏平に割れることがあるので注意が必要である。特にポーラスアスファルト混合物に使用する場合には、偏平な石の含有量が多いほど透水性が低下する傾向があるため、可能な範囲で偏平な石の含有量の少ないものを用いる。

さらに、花崗岩や頁岩などを含む砕石で、加熱することによってすり減り減量が大きくなったり、破壊したりするものは、特に表層およびポーラスアスファルト混合物に用いてはならない。

砕石の耐久性を損なう原因の一つに、目視では判断できない微細なひび割れ等がある。これを硫酸ナトリウムによる安定性試験で判定するときの目標値を表-3.3.11 に示す。また、表層や基層に用いる砕石で、特に有害物含有量を判定するときの目標値を表-3.3.12 に示す。

凍結防止剤として用いられている、塩化カルシウムや尿素などによって変質する砕石もあるので、特に積雪寒冷地において実績のない砕石を用いる場合には、使用する砕石をその薬剤に浸してみるなど、変質しないことを確認する必要がある。

表-3.3.11 安定性試験の目標値

用途	表層・基層	上層路盤
損失量 (%)	12 以下	20 以下

表-3.3.12 有害物含有量の目標値

含有物	含有量(全試料に対する質量百分率%)
粘土, 粘土塊	0.25 以下
軟らかい石片	5.0 以下
細長, あるいは扁平な石片	10.0 以下

2) 玉 砕

玉砕は、玉石または砂利を砕いたもので、4.75mm ふるいにとどまるもののうち、質量で40%以上が少なくとも1つの破砕面をもつものを用いる。特にポーラスアスファルト混合物に使用する場合には、所定の空隙率を確保することが困難となることがあるので、出来るだけ多くの破砕面を持つものを使用する。粒度および品質は、砕石の規格および品質を準用する。玉砕の原料となる玉石や砂利は、種々の材質をもつ岩石からできており、もろく砕けやすい石等が混じる場合がある。また、水による剥離が問題と

したものであり、再生路盤材料の素材として利用される。表-2.3.2に再生路盤材料として使用する場合のセメントコンクリート再生骨材の品質の目標値を示す。

セメントコンクリート発生材のうち、一般建設系のセメントコンクリート発生材には、タイルや陶磁器類、石膏ボード類、木片、プラスチック片、金属などの異物が混入している場合がある。粒状路盤材料は、骨材のかみ合わせにより支持力を確保するものであるが、これら異物の混入により支持力の低下が懸念されるため、異物が混入しないように十分注意する。

表-2.3.2 再生路盤材料の素材として用いる場合のセメントコンクリート再生骨材の品質

項目	目標値
すり減り減量 %	50以下

〔注1〕すり減り減量の試験は、粒径が13~5mmの骨材を用いて行う。
 〔注2〕安定性試験について省略したのは、そこに含まれる材料については既に一度材料規格試験が行われていることからこれらの性状については問題ないと判断されるからである。

2-3-4 路盤再生骨材

路盤再生骨材は、路盤発生材を必要に応じて破碎、分級したものであり、再生路盤材料の素材として利用される。

2-3-5 新アスファルト

新アスファルトは、不足するアスファルト量を補うためや旧アスファルトの性状を回復させるために再生加熱アスファルト混合物や再生加熱アスファルト安定処理路盤材料の製造時にプラントで添加するアスファルトをいう。表-2.3.3に「JIS K 2207:1996 石油アスファルト」から使用される新アスファルトの品質規格を示す。なお、JIS K 2207以外にも、針入度が300以上のストレートアスファルトや改質効果を有するアスファルトなど、針入度やその他の性状が異なるが新アスファルトとして利用できるものもある。この場合、再生加熱アスファルト混合物として混合性、施工性、供用性など所要の性状が得られることを確認した上で使用するとよい。

表-2.3.3 新アスファルトの品質規格

項目	種類	40~60	60~80	80~100	100~120	120~150	150~200	200~300
針入度(25℃)	1/10mm	40を超え 60以下	60を超え 80以下	80を超え 100以下	100を超え 120以下	120を超え 150以下	150を超え 200以下	200を超え 300以下
軟化点	℃	47.0~55.0	44.0~52.0	42.0~50.0	40.0~50.0	38.0~48.0	35.0~45.0	30.0~45.0
伸度(15℃)	cm	10以上	100以上	100以上	100以上	100以上	100以上	100以上
トルエン可溶分	%	99.0以上	99.0以上	99.0以上	99.0以上	99.0以上	99.0以上	99.0以上
引火点	℃	260以上	260以上	260以上	260以上	240以上	210以上	210以上
薄膜加熱質量変化率	%	0.6以下	0.6以下	0.6以下	0.6以下	-	-	-
薄膜加熱後の針入度残留率%	%	58以上	55以上	50以上	50以上	-	-	-
蒸発後の針入度比	%	110以下	110以下	110以下	110以下	-	-	-
密度(15℃)	g/cm ³	1.000以上	1.000以上	1.000以上	1.000以上	1.000以上	1.000以上	1.000以上

2-3-6 再生用添加剤

再生用添加剤は、旧アスファルトの針入度などの性状を回復させるために再生加熱アスファルト混合物や再生加熱アスファルト安定処理路盤材料に添加するものをいう。これには新アスファルトは含まない。再生用添加剤の標準的性状を表-2.3.4に示す。このほか、再生加熱アスファルト混合物の性状を改質アスファルト混合物相当とするための改質効果のある再生用添加剤がある。この場合、再生アスファルトおよび再生加熱アスファルト混合物として混合性、施工性、供用性など所要の性状が得られることを確認した上で使用するとよい。

なお、再生用添加剤が過度に添加された場合には、再生アスファルトの性状が著しく損なわれることがあり、特に繰り返し再生された場合にその傾向が顕著となる。そのため、再生用添加剤は、繰り返し再生利用も考慮して過度に添加しないよう留意する。